

あすなろ

2025年5月10日

みみレター

第2号

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

校内支援部（文責 松崎）



とうきょう 東京2025 デフリンピック かいさい 開催まであと200日！



「サインエール」で応援しよう！

とうきょうと 東京都などで 11月に開かれる 聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」に向け、東京都が手話を基にした日本生まれの応援スタイル「サインエール」の周知を進めている。手話を意味するサインランゲージとエールを組み合わせたもので、ろう者と聞こえる人が共同で完成させた。

国立競技場で4月2日に開催された、デフサッカー男子日本代表の親善試合。会場の500人以上が両手をパーにして前に出す「行け！」を意味するサインエールを送った。

デフ代表は敗れたが、主将のGK松元卓巳選手は「すごいパワーをもらい、本当に楽しい時間を過ごすことができた」と話す。

デフアスリートからの「声援はうれしいがあまり伝わらない」「応援を感じ取れたらもっと力になる」といった声をきっかけに、筑波技術大や全日本ろうあ連盟の協力を得て「行け！」「大丈夫勝つ！」「日本メダルをつかみ取れ！」の3種類が誕生した。

制作に関わったろう者の西脇将伍さんは「サインエールで大会を盛り上げ、選手が輝く場所をつくっていきたい」と期待を込めた。

出典：デフリンピックへ「見える」応援手話ベースに、東京都が周知 | 共同通信

見える応援「サインエール」とは？

“目”で伝わる応援のカタチ

きこえる・きこえないにかかわらず、全ての人がデフアスリートに想いを届けることができるよう、目で世界を捉える人々の身体感覚と日本の手話をベースに創られました。きこえない・きこえない人を中心にしたメンバーで、デフアスリートたちと共に開発されました。

「サインエール」は、手話の拍手をベースにしています。「GO! (行け!)」「You can do it! (大丈夫 勝つ!)」「Grab the Medal! (日本メダルをつかみ取れ!)」の3つの基本要素からなり、ここから今後バリエーションを広げていく予定です。

出典：デフアスリートに届ける新しい応援スタイル『サインエール』 | TOKYO FORWARD2025

競技にあわせて応援のバリエーションを考案されているようです。例えば、円盤投げの『投げろ!』や走り幅跳びの『飛べ!』、選手の名前を表したサインエールも考えられています。

サインエール 3つの基本要素

「**GO!**(**行け!**)」

「拍手」の手話と、「がんばれ」の日本
の手話をベースにした動き。

「**You can do it!**(**大丈夫 勝つ!**)」

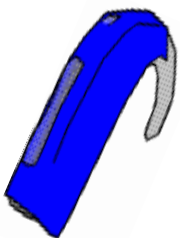
「大丈夫」「勝つ」の手話を繰り返した
後に「拍手」の手話の動き。

「**Grab the Medal!**

(**日本 メダルを つかみ取れ!**)」

「日本列島」「朝日」「メダル」「つかみ取る」
の日本の手話をベースにした動き。

出典：[デフアスリートに届ける新しい応援スタイル『サインエール』 | TOKYO FORWARD2025](#)



ほ ちょう き てん ら い こう ひ
補聴器店 来校日

がつ がつ
5月 6月

< 13:10~ 通級教室 >

□神戸ヒヤリングセンター

5月22日(木)

6月12日(木)

6月26日(木)

□トーシン姫路補聴器センター

5月16日(金)

6月6日(金)

6月20日(金)



補聴器の故障や買い替え、イヤホン等の作り替えの際は、補聴器店 来校日を確認して、担任にお申し出ください。